

科目名	ファッションデザイン	学年	2年	使用教材	【教科書】ファッションデザイン 文部科学省
		必修・選必・コース選			【副教材】
		単位数	4単位		

学習目標

ファッションデザインの基礎、発想と表現法などに関する知識と技術を習得させ、ファッションを創造的にデザインする能力と態度を育てる。

学習方法

- 実践的・体験的な学習活動を通して、ファッションデザインに関する分野を科学的・総合的にとらえていくことに努めましょう。
- 実際の生活に生かせるよう、学んだことを自分自身の問題ととらえ、ファッションデザインの知識・技術をよりよくするための工夫を考え、実践しましょう。
- 授業で活用するワークシートを上手に活用して、学習が確実に自分のものとなるよう、より深い理解をめざして取り組みましょう。

学習評価

○評価は定期考査、提出物、日々の授業態度や出席状況を、「次の4つ観点に基づき、学習内容のまとめりとごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	ファッションデザインの基礎及び発想や表現法等に関して関心を持ち、ファッションを創造的にデザインすることが出来る実践的な態度を身につけようとしている。
②思考・判断	ファッションデザインの基礎及び発想や表現法等に関して主体的に思考し、ファッションに関して工夫・創造しながらデザインする能力を身につける。
③技能・表現	ファッションデザインの基礎及び発想や表現法等、またファッションデザインの基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。
④知識・理解	ファッションデザインの基礎及び発想や表現法等、またファッションをデザインするのに必要な知識を総合的に身につけている。

○学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学期	1、デザインとは何か ① デザインの本質 ② デザインの3分野 2、ファッションの定義 3、ボリュームとシルエット 4、衣服の基本構造と構造線、装飾線 5、部分の形態	○ファッションデザインの目的をよく理解してデザインの本質について思考を深める。 ○衣服の基本構造と構造線、装飾線について理解を深め、衣服のデザインに必要な知識や技術を身につける。 ○衣服の部分名称について理解を深める。	○教科書、ワークシート、資料集、実物見本、ファッション雑誌、インターネットなどを活用し、デザインの本質、衣服の基本構造などについて実習も交えながら学習する。 (学習状況観察) (ワークシート) (中間・期末考査) (提出物) (自己評価)
2 学期	6、色彩とファッションイメージ 7、流行色と基調色 8、ハーモニーとコントラスト 9、バランスとシンメトリー・アシンメトリー 10、リズムとプロポーション 11、ビューティフルプロポーション	○色彩とファッションイメージ、ハーモニーとコントラスト、シンメトリー・アシンメトリー、ビューティフルプロポーションなどについて理解を深め、美しいファッションデザインをするために必要な知識や技術を身につける。	○教科書、ワークシート、資料集、実物見本、ファッション雑誌、インターネットなどを活用し、色彩とファッション、衣服をデザインするときのバランスなどについて実習も交えながら学習する。 (学習状況観察) (ワークシート) (中間・期末考査) (提出物) (自己評価)
3 学期	12、スワッチについて 13、スワッチの計画 14、スワッチの製作 15、発表	○1・2 学期に学習してきたデザインに関する内容を総合して、マイショップ及び商品の企画を考え、実際に企画書の作成を行うことが出来る。 ○みんなの前で自分の企画書についてきちんと説明し発表することが出来る。	○教科書、ワークシート、資料集、実物見本、ファッション雑誌、インターネットなどを活用し、マイショップの企画について実習等を通して学習する。 (学習状況観察) (ワークシート) (期末考査) (提出物) (自己評価)